

東三河振興ビジョン【主要プロジェクト推進プラン】～地域産業の革新展開～ 平成 27 年度の目標達成状況と主な取組の進捗状況について

I 作成の趣旨

本資料は、平成 26 年 3 月に策定した東三河振興ビジョン【主要プロジェクト推進プラン】～地域産業の革新展開～ に掲げられている目標の達成状況及び同プランに基づき実施する主な取組の進捗状況を東三河ビジョン協議会でとりまとめ、点検・公表するとともに、同プランのさらなる推進を図っていくためにまとめたものです。

II 目標の達成状況

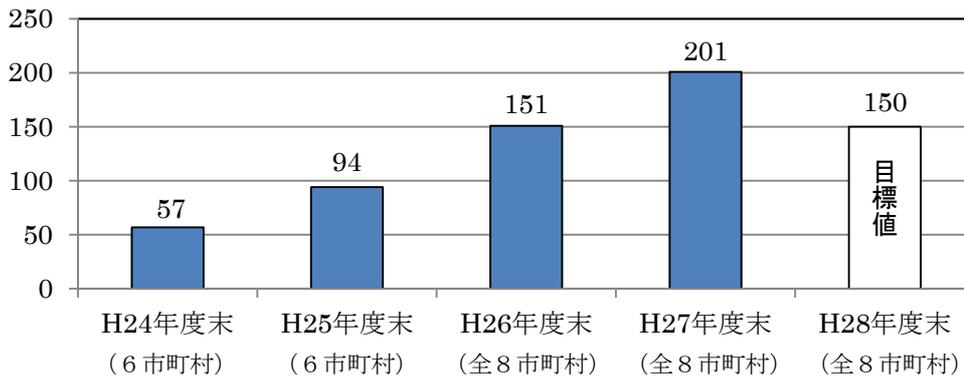
東三河振興ビジョン【主要プロジェクト推進プラン】～地域産業の革新展開～ に掲げる 4 つの目標の達成状況は、次表のとおりです。

項目	数値目標	計画当初	達成状況
目標 1 次世代自動車充電インフラ(EV・PHV 用充電器)の設置 基数の増加	150 基 (全 8 市町村) (平成 28 年度末)	57 基 (6 市町村) (平成 24 年度末)	201 基 (全 8 市町村) (平成 27 年度末)
目標 2 次世代産業として育成等を 図る 6 つの産業分野の企業 立地件数の増加	24 件 (8 件/年) (平成 26～28 年)	34 件 (6.8 件/年) (平成 20～24 年)	26 件 (13 件/年) (平成 26～27 年)
目標 3 地域が連携して取り組む農 林水産物・食品の輸出品目数 の増加	15 品目 (平成 28 年度)	9 品目 (平成 24 年度)	22 品目 (平成 27 年度)
目標 4 長期的インターンシップの 受入企業数の増加	45 社 (平成 28 年度)	24 社 (平成 25 年度)	41 社 (平成 27 年度)

1 次世代自動車充電インフラ(EV・PHV 用充電器)の設置基数

- 次世代自動車充電インフラ(EV・PHV 用充電器)の設置基数については、平成 24 年度末から約 2.6 倍増加させ、平成 28 年度末には 150 基とすることを目標としています。
- 平成 27 年度末における設置基数は、201 基となり、平成 24 年度末から約 3.5 倍の増加となりました（設置済み市町村数は、平成 24 年度末には 6 市町村でしたが、平成 26 年度末には全 8 市町村に増加しました。）。
- これは、豊橋市や豊川市を始めとして、設置が順調に進んでいることによるものです。

次世代自動車充電インフラ(EV・PHV用充電器)の設置基数の推移と目標値(基)



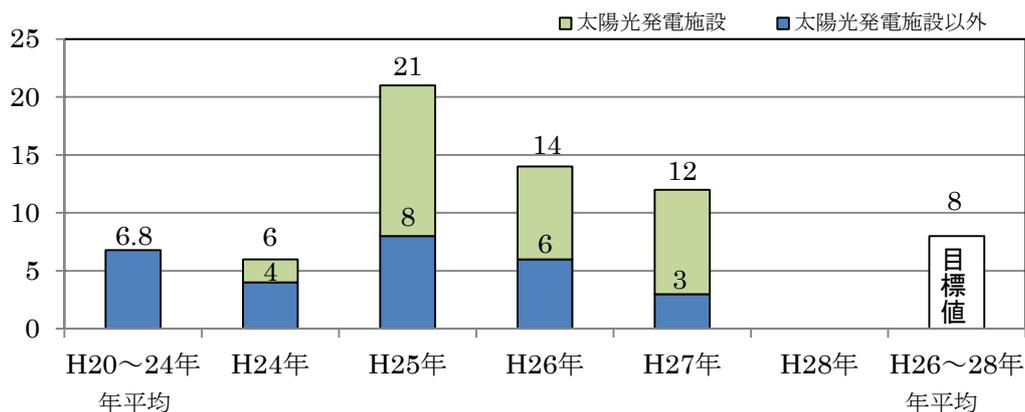
2 次世代産業として育成等を図る6つの産業分野の企業立地件数

- 東三河振興ビジョン(将来ビジョン)に掲げる「次世代産業として育成等を図る6つの産業分野」とは、輸送機械関連、健康長寿関連、農商工連携関係、新エネルギー関連、機械・金属関連、物流関連の6分野です。これらの企業立地件数については、平成20年から24年までの5年間の平均値から約20%増加させ、平成26年から28年までの3年間の平均値を8件とし、平成26年から28年までの合計を24件にすることを目標としています。
- 平成26年は、14件と目標水準を上回る成果が出ていますが、平成27年からは、目標値の根拠となっている国の工場立地動向調査の対象から太陽光発電施設が外れたことから、立地件数の把握は困難^{※1}となりました。
- このため、平成27年度からは、経済産業省が取りまとめ、毎月公表している固定価格買取制度における再生可能エネルギー発電設備の導入状況の報告数値を元に太陽光発電施設に係る立地件数を推計^{※2}し、工場立地動向調査から把握される残り5分野の立地件数と合算して得た数値により目標達成状況を評価することとします。
- 平成27年の太陽光発電施設の立地件数の推計値は9件となります。太陽光発電施設を除く工場立地件数3件と合算すると12件となり、目標値の年平均(8件/年)を上回る水準で推移しています。

※1 工場立地動向調査は、法律に基づく調査であることから、企業に直接アンケートを実施して件数を把握することが可能だったが、任意調査で同様の手法を採用しても、法的調査と同じレベルの回答率を確保することは困難と考えられる。

※2 愛知県内における太陽光発電設備の新規導入件数の平成26年からの伸び率を、工場立地動向調査において把握されている平成26年の太陽光発電施設の立地件数に乗じて推計を行う。

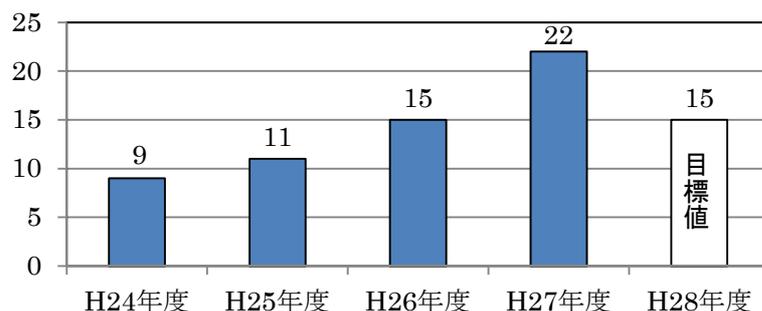
次世代産業として育成等を図る6つの産業分野の企業立地件数の推移と目標値(件)



3 地域が連携して取り組む農林水産物・食品の輸出品目数

- 地域が連携して取り組む農林水産物・食品の輸出品目数については、平成 24 年度から約 70%増加させ、平成 28 年度には 15 品目とすることを目標としています。
- 平成 27 年度における輸出品目数は 22 品目となり、平成 24 年度から約 2.4 倍の増加となりました。
- これは、豊橋市、田原市を始め、関係農業協同組合や食品加工業者等が連携して、主にアジア地域での販路開拓のための取組を積極的に展開していること、また、愛知県が海外で開催する「愛知フェア」（平成 27 年度は「Oishii Japan」への出展）において、東三河地域から継続的に出展されていることによるものと考えられます。

地域が連携して取り組む農林水産物・食品の輸出品目数の推移と目標値(品目)

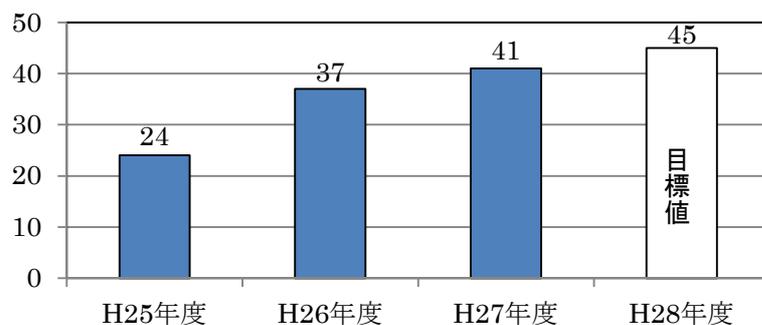


- 平成 27 年度における輸出品目は以下のとおり（東三河地域産業連携推進会議調べ）
アールスメロン、温州みかん、ミニトマト、大葉、次郎柿、巨峰、梨、エディブルフラワー、緑茶、漬物、佃煮、海苔、鰻加工品、インスタントスープ、日本酒、果実酒、練製品、和風めん、精麦、洋菓子、米菓、スナック菓子（順不同。）

4 長期的インターンシップの受入企業数

- 長期的インターンシップの受入企業数については、平成 25 年度の約 2 倍に増加させ、平成 28 年度には 45 社とすることを目標としています。
- 平成 27 年度における受入企業数は、41 社となり、平成 25 年度から約 1.7 倍の増加となりました。
- これは、企業側の採用意欲の高まりを背景に、企業向け研修や、企業経営者と学生との意見交換会等の実施を通じて、長期にわたるインターンシップ受入に対する理解が深まったことによるものと考えられます。

長期的インターンシップの受入企業数の推移と目標値(社)



Ⅲ さらなる地域産業の革新展開に向けて

- 次世代自動車充電インフラ(EV・PHV用充電器)の設置については、平成26年度末時点で目標を達成するなど順調に進んでいますが、山間部における整備は十分とは言えません。今後も「電欠なき愛知」を目指すためには、山間部等を含め、引き続き、設置を進めていく必要があります。
- 東三河の地域特性を活かした先駆的な取組として、植物工場における技術開発、農林水産資源を活用した特産品開発、メガソーラーの建設、バイオマスの広域的なエネルギー利用、低温プラズマ技術の実証実験等が実施されています。今後も、恵まれた自然環境や豊富な地域資源を最大限に活用しながら、産学官の連携の下、次世代産業の創出・集積を進めるとともに、農林水産業のさらなる振興を図り、農商工のバランスのとれた力強い産業展開を進めていく必要があります。

IV 平成27年度の主な取組の進捗状況

1 次世代産業の育成・振興

(1) 次世代自動車産業の育成・振興

<県> 従業員向け充電設備整備促進ガイドライン 及びEV・PHV用充給電設備整備促進ガイドラインの作成

- 県は、電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド自動車(PHV)の普及拡大に向けて、あいちEV・PHV普及ネットワーク参加者の協力を得て、「従業員向け充電設備整備促進ガイドライン」及び「EV・PHV用充給電設備整備促進ガイドライン」を作成。
- 今後、このガイドラインを活用し、環境イベント等でチラシ配布やデモンストレーション等の啓発活動を実施。一般開放の充電インフラ整備だけでなく、勤務先における充電設備の整備や、走る蓄電池としての機能を生かすための充給電設備の整備を促進。



(ガイドラインの啓発チラシ)

<豊橋市> 東三河ビジネスプランコンテストに対する支援

- 東三河地域を中心としたベンチャー企業及び創業予定者からビジネスプランを公募・選考し、投資家支援・専門家支援・施設支援等多方面のフォローアップを通じて、ビジネスプラン具現化の支援を目的として開催する「東三河ビジネスプランコンテスト」に係る経費を一部補助。



(東三河ビジネスプランコンテストチラシ)

<豊川市> 新技術導入に対する支援

- 先進企業や大学等への従業員の派遣や技術者招致等、最新技術導入に伴う研修を支援。

(2) 健康長寿産業の育成・振興

<県> 医療・福祉機器産業参入支援事業

- 東三河地域の企業等を構成員として、医療・福祉機器産業参入企業からの取組事例、シーズの紹介や、医療福祉機器産業への参入に必要な薬機法（旧薬事法）を学ぶ参入検討会を8回実施。

・開催日：平成27年10月6日（火）
～平成28年2月24日（水）

※薬機法：「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」



(セミナー)

(3) 新エネルギー産業の育成・振興

<県> 豊川浄化センターバイオマス利活用事業

- 下水汚泥をバイオマスとしてエネルギー利用することで温室効果ガスを削減するとともに、PFIの手法を用いることで、より効率的なエネルギーの生産・活用等を目的とした汚泥処理施設等の整備を推進。



(豊川浄化センター：
PFIで再稼働するメタン発酵施設)

<県> 下水道資源のエネルギー利用シンポジウムの開催

- 下水汚泥のバイオマスとしてのエネルギー利用や発生する熱・CO₂等の食料生産への利用実験（豊川バイオマスパーク構想）等、先進的な下水汚泥利用の取組への理解や取組の普及促進を図るためシンポジウムを開催。

・開催日：平成28年2月29日（月）



(豊川バイオマスパーク構想イメージ)

2 地域の特色を活かした産業集積の促進

(1) 産業用地開発等の促進

<県・三河港振興会> 三河港の機能強化

- 県は、神野西地区におけるふ頭用地の拡張整備（平成26～31年度）や、蒲郡地区における水深11メートル岸壁の整備等を実施。
- 三河港振興会は、三河港の港湾機能の整備促進、施設及び運営の円滑化と充実を図るため、国への要望活動や関係企業への調査・研究事業を実施。



(三河港)

＜豊橋市＞ 産業拠点形成事業

- 国道 23 号線沿線に新たな産業用地を確保するため、必要な調査を実施。

(2) 地域が一体となった誘致の取組強化

＜豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市＞ 東三河 5 市企業誘致推進連絡会議

- 首都圏の企業を対象として、東三河の魅力をも PR し、情報交換を行う東三河 5 市企業連携懇談会を東京都内において実施。
 - ・開催日：平成 28 年 2 月 22 日（月）
- その他、東三河 5 市による相互協力事業を実施。



(東三河 5 市企業連絡懇談会)

＜豊川市・蒲郡市＞ 第 18 回関西機械要素技術展出展

- 豊川市は、産業技術展出展事業として、企業誘致につなげるため、第 18 回関西機械要素技術展に出展し、多彩な企業と情報交換を実施。併せて、観光 PR やシティセールス等を実施。
- 蒲郡市は、展示会出展事業として、公募により申し込みのあった市内企業数社と第 18 回関西機械要素技術展に出展。出展企業における販路拡大の支援及び市内企業のパンフレットを設置するとともに市の企業用地、立地優遇施策等の紹介を実施。
 - ・開催日：平成 27 年 10 月 7 日（水）～9 日（金）



(第 18 回関西機械要素技術展)

＜県＞ 愛知県産業立地セミナー

- 主要企業、外資系企業に対し、愛知県の立地環境、立地優遇施策等を紹介するため、愛知県産業立地推進協議会等とともに、大阪府、東京都においてセミナーを開催。東三河からは、トップセールスとして蒲郡市長が参加。

- ・開催日 大阪：平成 27 年 8 月 27 日（木）
東京：平成 27 年 11 月 18 日（水）



(蒲郡市長のトップセールス)

3 農林水産業の高付加価値化・市場の拡大

(1) 産業間連携の推進等による農林水産業の高付加価値化

<豊橋市> 農産物プロモーション活動の展開

- 豊橋産農産物のブランド化推進のため、首都圏での駅広告やフリーペーパーへの広告掲載、日本野菜ソムリエ協会や交通会館マルシェを活用したPR等、プロモーション活動を実施。



(交通会館マルシェ)

<豊橋市> ミニトマト周年出荷モデルの検討

- ミニトマトの周年出荷をめざし、農家、農協、農業関連企業、シンクタンクと研究会を設置し、栽培モデルの検討や経営分析、先進地視察を実施。



(中山間地での夏秋ミニトマト調査)

<豊橋市> 新商品等開発の推進

- 「売れる、儲かる次世代ブランド農産物」を新たに開発、育成するために、白菜の新容器開発および冷蔵試験、スティックサラダの種苗登録、イチゴ栽培の新技术の試験等を実施。



(種苗登録したスティックサラダ)

<豊橋市> 先端技術輸出調査事業

- 高度なノウハウや技術を有する植物工場システムの海外輸出等について、現地ニーズの調査やビジネスモデルを検討。



(IGHプロジェクト)

<豊川市> 農商工連携に関するセミナーの開催

- 農業者の所得向上や農産物のブランド化の推進を図ることを目的として先進地の視察研修会を開催。



(産直レストランの視察)

<蒲郡市> あわび陸上養殖プロジェクト

- 「がまごおり産学官ネットワーク会議」を運営主体とし、旧市民プール管理棟内にクロアワビの陸上養殖装置を設置。産学官連携による試験養殖を実施。



(実験水槽)

＜田原市＞ 農商工連携マッチング事業

- 地域内連携による付加価値の高い商品開発促進のため、首都圏のバイヤーを6名招聘し、地元事業者に対する講演、特産品の評価及び個別相談を実施。田原市内から20社が参加。

・開催日：平成28年3月24日（木）



(首都圏バイヤー目利き相談会)

＜設楽町＞ 野生鳥獣解体加工所設置に対する支援

- 奥三河つぐ高原グリーンツーリズム推進協議会に対して、「奥三河高原 ジビエの森（平成27年4月稼働）」の施設整備を補助。

イノシシ・ニホンジカを食肉加工し、奥三河地域の飲食店等へ食材を供給。



(奥三河高原 ジビエの森)

＜設楽町＞ 小型木質バイオマスガス化発電プロジェクト

- 森林資源を活用した地域振興のイメージを「小型木質バイオマスガス化発電」を中心に研究検討し、今後取り組むべき事業の方向性を取りまとめ。

＜東栄町＞ とうえい山菜王国プロジェクト

- とうえい山菜王国研究会が実施する山菜などの地域産物の栽培拡大や特産品開発を支援。ワラビの促成栽培に取り組むとともに、都会との交流事業等を実施。



(山菜の栽培)

＜豊根村＞ チョウザメ養殖プロジェクト

- 幸田町と連携し、名古屋大学が有する水質浄化や動植物の成長促進に効果があるとされる低温プラズマ技術を養殖に応用した実証実験を開始。

また、東海大学海洋学部水産学科の協力で、内水面養殖業の可能性の研究を開始。



(チョウザメの養殖)

＜豊川商工会議所＞ 農商工連携プロジェクトの実施

- 豊川市の地域活性化を目指し、地域資源を活用した農商工連携を推進するため、ひまわり農業協同組合と連携してプロジェクトチームを設置。意見交換や情報交換、研究会活動を重ね、豊川市や関係機関等と連携を図るとともに各分野の専門家の指導助言を得て、地域資源「バラ」を主に活用した新商品の開発など様々な事業を実施する「とよかわフラワープロジェクト」を開始。



(ひまわり農業協同組合権田代表理事組合長(左)と豊川商工会議所日比会頭)

＜蒲郡商工会議所＞ 全国ご当地うどんサミットの開催

- 愛知県産「きぬあかり」の利用促進や国産小麦の利用拡大を図ることを目的として、「第5回全国ご当地うどんサミット 2015 in 蒲郡」を開催。
 - ・開催日：平成27年11月7日（土）～8日（日）
 - ・来場者：41,000人



(全国ご当地うどんサミット)

＜田原市商工会・渥美商工会＞

「ベジフル田原」日本一の生産額を誇る田原市の野菜を使った特産品開発事業

- 実行委員会を6回開催し事業の推進と「ベジフル田原」ブランド認証制度を検討。新商品開発ワーキング部会を6回開催し11試作品を改良。
- 「グルメ&ダイニングスタイルショー」へ出展。
 - ・開催日：平成28年2月3日（水）～5日（金）
- 関係者発表及び試食会を開催。
 - ・開催日：平成28年2月12日（金）
- 道の駅「あかばねロコステーション」で市場調査を実施。
 - ・実施日：平成28年2月13日（土）



(グルメ&ダイニングスタイルショー)

日本一の花弁生産地が発信する「新しい花生活」開発展開プロジェクト

- 全国展開戦略策定委員会及びワーキング部会を5回開催し、「花都 田原」のまちづくり計画、推進組織及び社会実験事業について検討・実施。
- 「トライアスロン伊良湖大会（9月6日（日））」で、オリジナルブーケを選手から家族等に贈呈。
- 東京のビジネスマンやビジネスウーマンを対象に、花きの新しい可能性を求めた「丸の内朝大学」の講座を8回開設、26名が参加。
 - ・開催日：平成27年10月8日（木）～12月5日（土）



(丸の内朝大学)

＜設楽町商工会・津具商工会・東栄町商工会・豊根村商工会＞ 奥三河STT48プロジェクト

- 奥三河3町村の4つの商工会が一体となり、奥三河地域の特産品、観光商品を開発し、奥三河地域の道の駅や観光施設等での販売を強化。



(もっくる新城での販売)

＜県＞ 地産地消推進事業

- 県内農林畜水産物を利用して県内食品製造業者が商品化した「ふるさと食品」による、「愛知のふるさと食品コンテスト」を開催し、「柿あん」が最優秀食品に選出。「優良ふるさと食品中央コンクール」に推薦し、農林水産大臣賞を受賞。



(柿あん)

(2) 国内や海外マーケットへの販路開拓支援

<県> あいちの農林水産物輸出拡大戦略事業

- 「Oishii JAPAN」に愛知県ブースを出展。
あいち国際戦略プランに基づき、平成27年度は県全体の取組として、シンガポールをターゲットに戦略的に交流を推進。東三河地域からは、豊橋市始め3者が出展。
 - ・開催日：平成27年10月22日(木)～24日(土)
- 「2015 昇龍道(中部・北陸)物産観光展」に参加。
 - ・開催日：平成27年11月26日(土)～12月8日(火)
 - ・会場：バンコク伊勢丹



(Oishii JAPAN)

<県> 愛知県産農産物の需要拡大推進

首都圏における農林水産物の販売促進活動を実施。

○ 農林水産祭 実りのフェスティバル

キャベツ、ミニトマト、大葉、シクラメン、うずら卵の燻製等、東三河の農産物をPR。

- ・開催日：平成27年11月13日(金)～14日(土)
- ・会場：サンシャインシティ

○ 観光物産フェア

次郎柿、ミニトマト等、東三河の農産物をPR。

- ・開催日：平成27年11月6日(金)～7日(土)
- ・会場：有楽町駅前広場

○ あいちの農産物トップセールス in 東京

キャベツ、トマト、ブロッコリー等、東三河の農産物をPR。

- ・開催日：平成28年2月6日(土)
- ・会場：二子玉川ライズ東急ストア



(知事のトップセールス)

<県> 花の王国あいち需要拡大推進事業

- 全国一の花き産出額を誇るあいちの花を暮らしに取り入れる「花いっぱい県民運動」を実施。

豊橋駅構内を始めとする県内施設における「今月のあいちの花」のPRや、花育教室の開催(東三河地域では、豊橋市・田原市の小学校3校で実施)等を実施。



(花育教室)

<県> 首都圏等の広域プロモーション

- 地元JAの協力を得て、「ツーリズムEXPO ジャパン」出展や東京都内のフラワーショップ等において花きのプロモーションを実施した。「東三河の花を利用したフラワーレッスン」や「生産者と小売店の交流」を実施。
- 平成26年度に開発した輸出戦略加工品(グラノーラ)を「VISIT JAPAN トラベルマート2015」の東三河広域観光協議会ブースにて試食の提供等を行い、改良を検討。



(ツーリズム EXPO ジャパン)

＜豊橋市＞ 農産物の海外販路開拓

- 「Oishii JAPAN」の愛知県ブースに出展し、次郎柿をPR。
- シンガポールのスーパーにて温室ミカン、種なし巨峰、次郎柿、ミニトマトの試験販売を実施。
- シンガポールのインターネット通販にて梨、次郎柿、ミカン、ミニトマトの試験販売を実施。
- バンコクの百貨店にて次郎柿の試験販売を実施。また、「2015 昇龍道（中部・北陸）物産観光展」にて次郎柿を販売。



(バンコクの百貨店で次郎柿を試験販売)

＜豊橋市＞ 加工食品海外販路開拓事業

- (株)サイエンス・クリエイトが実施した、香港の「FOOD EXPO 2015」への出展及びレセプション開催に係る経費を一部補助。練り製品、佃煮等の食品関連企業7社の出展を支援。出展者と現地バイヤー等の交流を目的としたレセプションや市場調査を実施。
 - ・開催日：平成27年8月13日(木)～15日(土)



(FOOD EXPO 2015)

＜豊橋市＞ 浅草の商業施設へ初のアンテナショップ

- 地方の魅力を全国に発信する浅草の商業施設「まるごとにつぼん」内の常設展示コーナーへ出展し、観光資源のPRや特産品の販売を開始。



(まるごとにつぼん)

＜蒲郡市＞ 農産品等国内外販路開拓事業

- 農業の振興、農家所得の拡大や蒲郡市のブランド強化等を図るため、関東圏の百貨店での売場確保や海外のバイヤーの産地への招聘、多言語パンフレットの作成等、農産品等の国内外の販路拡大を推進。



(関東圏の百貨店での売場確保)

＜田原市＞ 野菜ソムリエ育成事業

- ジュニア野菜ソムリエや野菜ソムリエの有資格者を育成し、「ベジエール渥美」を結成。食育・PR・勉強・レシピの4部会で活動し、田原市の野菜の品質や安全性、おいしさや調理方法等を消費者にPR。



(ベジエール渥美によるマルシェ出展)

＜田原市＞ マルシェ出展支援セミナー実施

- 首都圏等のマルシェへ農産物を出品するにあたり必要となる知識等を学ぶ、事前講習会を実施。東京都、大阪市、名古屋市でマルシェへ出展。



(マルシェ出展)

＜田原市＞ 農産物輸出戦略推進事業

- シンガポールで開催の「Oishii JAPAN」の愛知県ブースに出展し、アールスメロン、日本茶、大葉、漬物をPR。



(Oishii JAPAN 出展)

＜豊橋田原広域農業推進会議＞ 農産物輸出推進事業

- 香港において、日系百貨店、スーパー等でミニトマトを継続販売。

＜東三河広域連合＞ 東三河アンテナショップ実現可能性調査

- 東三河のさらなる認知度の向上及び交流人口の拡大等を図るため、東三河の特産品等の現状を認識するとともに、現地の消費者ニーズ等を的確に捉え、東三河が出店を目指すべきアンテナショップのコンセプト及びモデルを構築。



(コンセプトメイキング会議)

4 産業人材の育成・確保

(1) イノベーションを促進する人材の育成・確保

<豊橋技術科学大学>

○ 社会人の学び直しシステムの構築・推進

大学主催の人材育成プログラムとして3Dものづくり講習会や、農業6次産業化人材養成コース等を実施し、高度技術者を養成。

また、地域産業、地域社会を支える社会人のキャリアアップ・システムの構築・推進を目指し、産官学の連携により設立された「社会人キャリアアップ連携協議会」に参画し、各構成団体で実施する人材育成プログラムを共有・一元化する取組や新規プログラムの開発を連携して推進。



(社会人キャリアアップ連携協議会HP)

○ 地域課題解決のための人材育成

臨海部の4市と企業自治会等により「三河港湾防災・減災連絡会」を設置するとともに、企業等の防災担当者を受講対象とした「地域地震防災コース」を実施。実践的・高度防災担当者を養成。



(地域地震防災コース)

○ 最先端植物工場マネージャー養成プログラムの開発及び実施

IT技術を活用した新たな植物工場の管理運営のできる人材を育成するための研修を開発し、平成26年12月から平成28年3月まで研修を実施。



(植物工場)

<豊橋市> メイカーズ・ラボ交流促進事業

○ 様々な業種の人々の交流や情報交換を促進し、地域産業の活性化を図るため、豊橋サイエンスコアに3Dプリンタやレーザーカッターなどデジタル工作機械を備えた「メイカーズ・ラボとよはし」を設置(平成27年11月7日)。初級体験から先端技術まで様々なものづくり体験講座を開催し、1,155人が施設を利用。



(メイカーズ・ラボとよはし)

<豊川市> チャレンジとよかわ活性化事業(中小企業支援)

○ 新たな商品開発、サービスの提供等、愛知県知事に認定を受けた経営革新計画の実施に係る費用に対して支援を実施。

**<豊川商工会議所・東三河広域経済連合会>
東三河産業アカデミー・人材育成セミナー**

- 東三河の商工会議所・商工会が連携し、会員事業所を対象に、経営幹部及び管理監督者向けの人材育成セミナー等 12 講座を開催。



(中小企業のための実践 MOT (経営技術) 講座)

<蒲郡商工会議所> 産業力向上支援事業

- 自治体・金融機関等と連携して地域内の創業促進を図るため「がまごおり創業支援ネットワーク」を組織し、創業者へのビジネスプラン作成支援、創業資金支援、創業後のフォローアップ支援等を実施。



(がまごおり創業塾 2015)

<奥三河地域雇用創造協議会> 実践型雇用創造事業

- 「観光」「農商工連携」を重点分野として、「おとなが楽しむ手軽な田舎」をコンセプトに、奥三河地域における雇用創造事業に取り組む（平成 26～28 年度）。
- 奥三河高原「グリーン・ツーリズム」セミナーや、奥三河高原「ソウル（魂）フード」セミナー等を実施し、地域情報の収集・編集力、地域資源を活用したプログラム開発・企画力等を持つ人材を育成。



(ソウル（魂）フードセミナー)

<田原市商工会・渥美商工会> 人材育成支援事業 たはら商人道場

- 創業促進と持続的に発展できるよう計画的な経営を図ることを目的として、創業・第二創業セミナーと経営計画作成セミナーを実施。
- ・創業・第二創業セミナー
平成 28 年 1 月 26 日～3 月 9 日（5 回）35 名出席
- ・経営計画作成セミナー
平成 28 年 1 月 21 日～2 月 22 日（5 回）27 名出席



(創業・第二創業セミナー)

<県> 東三河地域新事業創出支援

- 各種ビジネスプランコンテストにおいて入賞したものの活用されていないビジネスプランを、産業支援機関のノウハウを活用して東三河地域の企業と結び付け、製品化に向けた取組を支援し、3 プランの製品化と販売に向けた調整を実施。



(製品化に向けた試作品)

(2) 若者の力を伸ばす地域連携の強化

<豊川市> 地域技能者活用事業

- 地域の優れた熟練技能者を工業高等学校へ派遣し技術指導することにより、高校生の技術習得や資格取得を支援。

<田原市> 渥美半島花の超祭典の開催

- 地域の若手花き生産者等が中心となり、渥美半島の花約 500 種 20,000 本の花を集めた「渥美半島花の超祭典」を実施。展示や直売、ブーケづくり体験、オープンハウス（農場見学）等を実施。

- ・開催期間：平成 28 年 2 月 20 日(土)～21 日(日)
- ・来場者：10,000 人



(渥美半島花の超祭典チラシ)

<県> 次世代モノづくり人材の育成

○ モノづくり魂^{だまし}浸透事業

小中学校及び特別支援学校において、技能五輪メダリスト等技能者による講話等の出前講座を実施。東三河地域では、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市の 10 校で実施。

○ 熟練技能者等派遣事業

あいち技能マイスター等の熟練技能者を活用した実技指導や技能の実演披露等、若手技能者の技能向上や技能五輪等の技能競技大会に出場する選手の強化を支援。

東三河地域では、県立東三河高等技術専門校と民間事業者 1 社で実施。



(モノづくり魂浸透事業)

<県> 東三河若者・しごと創生人材確保支援事業

- 東三河地域の産業を担う人材の育成、Uターン、確保を図るため、東京圏の学生向け企業訪問ツアー（平成 27 年 8 月 10 日・平成 28 年 2 月 16 日）、大学・学生寮等での企業 PR（平成 27 年 11 月～平成 28 年 2 月の間 8 回開催）、学生インターンシップ（受入企業数 14 社）等を実施するとともに、東三河地域での新たな雇用の創出のための起業支援セミナー（5 講座 21 回）を実施。



(東三河企業訪問ツアー)